

2026 年 9 月 1 日

株式会社高速

報道関係者各位

仙台から、次の夢へ。

羽生結弦さんを起用した新企業 CM を 2026 年 9 月より放映

創立 60 周年を迎えた株式会社高速、宮城ゆかりの羽生結弦さんとともに新たなメッセージを発信

食品パッケージの専門商社である株式会社高速（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長執行役員：赫裕規）は、創立 60 周年を機に、プロフィギュアスケーター羽生結弦さんを起用した新企業 CM を制作しました。放送は、2026 年 9 月 18 日からを予定しております。あわせて、2026 年 9 月 1 日より JR 仙台駅構内において、羽生結弦さんを起用した交通広告を展開いたします。本施策のキャッチフレーズは「次の夢へ」です。

CM に込めたメッセージ

今回の CM のコンセプトは「夢」です。

株式会社高速の経営理念には、「たえず夢とロマンをもち、その実現を求めて品格ある、誇り高い商いの王道を歩む」という一節があります。夢とロマンを胸に、それぞれの王道を歩み続けてきた——その姿において、羽生結弦さんと株式会社高速は深く重なります。

羽生結弦さんは、仙台を原点に世界へ羽ばたき、数々の偉業を成し遂げた今もなお、夢に向かって挑戦を続けています。ひとつの夢を叶えても、また次の夢へと歩みを止めない——その姿勢は、創立 60 年を越えてなお新たな挑戦を続ける高速の想いと重なります。

同じ仙台を原点とする二者が、これからも夢に向かって歩み続ける。今回の CM では、そうした想いを「次の夢へ。」というメッセージに込めています。

羽生結弦さん起用の背景

株式会社高速は、創立 57 年目にして初めて実施したテレビ CM から、高速が一貫して大切に

きたのは、「地域とのつながり」です。

創立 60 周年を迎える今回は、その想いをさらに発展させる象徴として、同じ宮城で育ち、世界の舞台で挑戦を続ける羽生結弦さんを起用いたしました。

私たちは、宮城には世界に誇れる企業や人材がいることを伝えたいと考えています。そして未来を担う地域の子どもたちに、「地方からでも、次の夢へ挑戦できる」という希望を届けたいと願っています。

株式会社高速 代表取締役社長執行役員 赫裕規コメント

当社は、仙台で生まれ、お客様をはじめとした地域の皆さまの支えにより成長した会社です。東日本大震災の際には、食品包装資材を供給し続けることで食のインフラを支える責任を感じました。その後も変わることなく、「社会にとって有用な企業であり続ける」という理念のもと歩み続けています。

羽生結弦さんもまた、仙台を原点に世界へ挑戦し続け、ひとつの夢を叶えるたびに、また次の夢へと歩みを進めてこられました。創立 60 周年は、私たちにとってのゴールではなく、次の夢へのスタートです。この CM を通じて、地域に暮らす子どもたちが「自分も次の夢へ挑戦したい」と感じてくれれば幸いです。

CM 放送エリア

放送開始日：2026 年 9 月 18 日

放送エリア：北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、新潟、長野、石川、関東（東京、埼玉、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬）、静岡、東海（愛知・岐阜・三重）、関西（大阪・京都・滋賀・兵庫・奈良・和歌山）、広島、愛媛、福岡

株式会社高速について

株式会社高速は 1966 年に仙台で創立し、食品パッケージを通じて日本の食を支えてきました。スーパーやコンビニエンスストアに並ぶ食品の包装資材をはじめ、商品企画から配送までを担い、「食の流通を支える」「食のおいしさを演出する」「食の安全・安心に貢献する」ことを社会的な

存在意義としています。

そして今、地域で回収したプラスチックを再び資源として活用するケミカルリサイクルなど、環境分野への新たな挑戦を進めています。同じ仙台を原点に、夢に向かって歩み続ける羽生結弦さんとともに、高速はこれからも「次の夢へ」歩みを進めてまいります。

CM コピー

次の夢へ。



会社概要

社名	株式会社高速（英訳名 KOHSOKU CORPORATION）
設立	1966 年（昭和 41 年）2 月 12 日
本社	宮城県仙台市宮城野区扇町七丁目 4 番 20 号
代表者	代表取締役社長執行役員 赫裕規
事業内容	食品軽包装資材の販売、食品容器、フィルム、ポリ袋、ラミネート、紙製品、包装機械・設備の販売 等
HP	https://www.kohsoku.com/

本件に関するお問い合わせ 株式会社高速 総務部 TEL：022-259-1611

※仙台駅スーパーワイドフラッグに関する駅及び駅員へのお問い合わせはお控えください。